

子ども支援レポート②

ヤオコーでは、2020 年 9 月から、埼玉県、埼玉県社会福祉協議会、アサヒロジスティクス(株)様のご協力のもと、埼玉県下の生活にお困りの子育て世帯を対象にしたお米の支援を開始し、2022 年 8 月で丸二年が経ちました。そして、この子ども支援を一時的なものではなく継続的な取り組みとするため、2021 年 3 月に「一般財団法人 ヤオコー子ども支援財団」を設立し、2021 年 9 月より財団でこの活動を引継ぎました。これまで同様、毎月 1 回埼玉県福祉部および埼玉県社会福祉協議会のご協力のもと、埼玉県内にあるフードパントリーと子ども食堂へ、お米をお届けしております。

お米の支援		配布エリア	個数	キロ数	こども食堂	フード パントリー	配布団体の 合計
5	2022 年 1 月	北本市	118	568	8	3	11
6	2022 年 2 月	川口市	110	543	9	5	14
7	2022 年 3 月	浦和市	115	554	20	12	32

【配送現場レポート】



2021年1月 北本エリア 118袋（568キロ）

ヤオコー北本中央店搬入口隣にある「きたもとこども食堂さん」が中間拠点となっており、フードパントリーで配布される生鮮食品もよくヤオコーに買いに来てくださっているとのことでした。きたもとこども食堂さんは2016年から活動を開始していますが、コロナ禍で登録者数も増えているとのことでした。子どもの居場所を提供されていますが、子どもだけでなく、子育て中の親もホッとできるような場所になっています。



2022 年 2 月 川口エリア 110 袋 (543 ㌔)

今回初となる「さがみ典礼 川口駅前葬祭センター」での荷下ろしでした。川口駅から徒歩 3 分の立地にあり、さがみ典礼を運営されているアルファクラブ株式会社さまは、場所の提供だけでなく、子どもたちが海に行くためのマイクロバスを運転手さん付きで貸し出しをしたり、仏滅の婚礼のない日には、バンケットホールに子どもたちを招待し、ワンプレートの食事をサービスマン付きでふるまったりと楽しい企画を提案されています。



2022年3月 浦和エリア 115袋（554キロ）

2月同様、荷下ろし場所にさがみ典礼さまが駐車場の一角をご提供してくださいました。あいにくの雨模様でしたが、荷下ろしを始めるタイミングでは小雨になりました。なんとかお米を濡らさずにお持ちいただくことができました。さいたま子ども食堂の代表を務めていらっしゃる本間さまの仕切りで、とてもスムーズに配布することができました。